



あまど坂

千葉市立天戸中学校
校報 第2号
令和7年5月20日(水)

大縄跳び

校長 佐藤 秀作

新緑の美しい季節を迎えています。過ごしやすいこの時期には学校でも様々な行事が続きます。5月7日からの3学年修学旅行は天候にも恵まれ、北アルプス連峰の荘厳な姿を目にすることができました。安曇野や善光寺など景勝地を巡る中で素敵な思い出が刻まれたことと思います。

そして今週末にはいよいよ体育祭が開催されます。生徒達は本番に向けて各種目の練習に一生懸命に取り組んでいます。特にクラス対抗である「大縄跳び」にはとても気合が入っており、今から本番が楽しみです。

さて、クラス全員で何か一つのことにチャレンジする機会は学校においてもそう多くはありません。そして大縄跳びには知・徳・体すべての要素が盛り込まれていると言ってもいいでしょう。まずは体力。大縄は自分のペースで跳ぶことはできません。苦手な人もみんなに合わせるために頑張らなくてはならない。その過程で知らないうちに体力がつきます。次は知力。どうしたら縄に引っかからないのかをひとり一人が考えます。特に縄を回す人は知恵と工夫が必要です。最後は徳の力。全員の気持ちをひとつにするにはどうしたらいいのか。引っかかった人に「ドンマイ!」と言える精神、「勝ちにこだわりすぎず、かつ、集中する気持ち」それぞれの違いを認めながら、力を発揮する難しさ。そして全員の気持ちが一つになった瞬間の何とも言えない一体感と達成感。日頃、なかなか味わうことのできない経験が大縄跳びには詰まっています。

話は変わりますが、人は昔から「祭り」という行事を大切にしてきました。祭りは天候や収穫など、人の力ではどうにもならない自然への感謝を示す儀式であり、大勢で力を合わせて取り組む過程で、身近な人との協力の大切さ、自分の存在感を知る機会でもあったのだと思います。

とはいえ、最近ではコロナ禍の影響で、世界各地で伝統的なお祭りがなくなりつつあると聞きます。そうした祭りの減少は人と人との絆を弱くし、個人の存在感も希薄にしかねません。体育祭の在り方もまた、大きく見直されようとしています。

しかし、昔から続けてきた「祭り」にはやはり、先人たちの様々な思いや願いが含まれていたはずで、効率化やスマート化も大切かもしれませんが、私たちが社会の中で人として存在していくためには、やはり残すべきものとそうでないものの選択を慎重に行うべきであると考えます。「たかが大縄。されど大縄。」全員で力を合わせ、一つの縄を跳んだ歓声の瞬間にその答えはあるのだと思います。

【6月の主な行事予定】

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
テスト期間 部活動中止 (～6/6)				総体顧問会議	第1回定期 テスト	
8	9	10	11	12	13	14
		テスト処理 短縮日課 部活動中止				
15	16	17	18	19	20	21
	職員会議 部活動中止	市教研 F組げんき交流会 部活動中止	交通安全教室	生徒集会	第1回進路説明会	
22	23	24	25	26	27	28
			学年会		専門委員会 部活動中止	
29	30					
	評議会					

＊体育祭につきましては、過日配付しました「体育祭のご案内」をご確認ください。

(保護者受付は 8:20 開始です。学校から配付された名札の着用をお願いします)。

＊三者面談(7月7日～7月11日)のお知らせを後日配付します。6月10(火)までに希望票の提出をお願いします。決定した日時はお子さんを通じてお伝えします。
(6月20日頃を予定)

＊6月25(水)は第1期の学校徴収金の振替日です。残高の確認をお願いします。
引き落としができない場合は、7月15日(火)に再振替を行います。

＊千葉市教育委員会では、学校におけるいじめや体罰、性的ないやがらせ、家庭内での虐待などの問題に対応するために、千葉市の小学校・中学校・中等教育学校・特別支援学校・高等学校の児童生徒に「子どもにここサポート」の手紙相談の用紙を配付し、子どもをめぐる様々な問題の解決に取り組んでいます。「子どもにここサポート」は、子どもたちのための相談先で、電話(043-245-3008)だけでなく、手紙でも相談できます(手紙相談専用の用紙は、切手をはらなくても届きます)。本事業についてお子さんにご紹介ください。